

## 平成30年度大阪府立西野田工科高等学校 定時制の課程 第2回学校運営協議会

□日 時：平成30年11月1日（木）18:00～20:00

□出席者：協議会委員6名、准校長、教頭、主査、生徒部長、教務部長、進路指導主事、記録担当者

□第一部：会長あいさつ、准校長あいさつ

□第二部：報告・協議

◆授業アンケート結果について（教頭より説明）

- ・「平成30年度 第1回授業アンケート（6月実施）」について説明
- ・今年度の傾向および昨年度との比較

◆学校の状況報告（教務部・生徒部・進路係より説明）

【教務部】

- ・今年度の進捗状況      ・生徒数の推移
- ・概要・取組み状況（新カリキュラムへの取組み・基礎学力の向上・中退防止と原級留置の減少など）
- ・生徒出欠状況      ・資格取得状況

【生徒部】

- ・生徒指導（懲戒報告・現況報告など）      ・特別活動（生徒会・部活動など）
- ・部活動在籍者数      ・生徒部統計      ・保健      ・教育相談      ・今後の取組み

【進路関係】

- ・卒業予定者数と進路状況      ・進路指導      ・今後の取組み

◆平成30年度 これまでの取組み（教頭より説明）

- ・夏休み工作体験教室      ・生徒秋季発表大会

◇委員からの意見

- ・退学者数が減り、出席率が上がっていることはうれしい。
- ・クラスでのつながりがあれば、進級率・進学率なども上がる。
- ・出席率が高く、生徒指導案件が少ないということは、学校と生徒の信頼関係ができています。
- ・進路指導では生徒から「どんな経験をしたか」を丁寧に聞いてあげて、自分を知ってもらい、そのうえで進路について考えさせることが大切である。
- ・インターンシップに積極的に参加して、生徒にいろいろな仕事を見せていただきたい。
- ・現在の生徒は大体が先を見通してしまっていて諦めが早い、最後の一押しが難しい。

◆提言

- 進路指導にプラスになることをOBと連携して考えていただきたい。
- 生徒にもっと自信がもてるような指導をしていただきたい。
- 本人だけでなく保護者に対しても進路について、色々な情報を提供し、早くからイメージできるようにしていただきたい。
- 「最後の一步が踏み出せない」生徒が多く、自分で決断できない生徒へのサポートは、これまでどおり必要だが、最終的には自分で考えられるよう指導していただきたい。